

資料1-1

トキの飼育繁殖の状況等

1. 前回の小委員会（平成23年7月26日）以降の経過

- 9月2日 順化ケージで訓練中の1羽が負傷したため保護（後日センターへ移送）
- 9月27日 第5回放鳥開始
- 9月28日 第5回放鳥終了（18羽放鳥）
- 9月29日 定期健康診断
- 10月4日 いしかわ動物園の個体13羽をセンターに移送
- 10月7日 出雲市トキ分散飼育センターの個体10羽をセンターに移送
- 10月10日 多摩動物公園の個体5羽をセンターに移送
- 10月11日 長岡市トキ分散飼育センターへ2ペア（Yペア、新規ペア）を移送

2. 飼育・繁殖状況（平成23年11月21日現在）

飼育・繁殖場所	成鳥（羽）	H23生（羽）	合計（羽）
佐渡トキ保護センター	83	40	123
野生復帰ステーション	14	8	22
うち順化ケージ	0	0	0
繁殖ケージ	14	8	22
多摩動物公園	9	0	9
いしかわ動物園	6	2	8
出雲市トキ分散飼育センター	4	0	4
長岡市トキ分散飼育センター	4	0	4
計	120	50	170

3. 繁殖結果

前回の小委員会(7/26)の段階で全ペアの産卵、孵化、巣立ちが終了しており、その後成育数に変化はない。

全25ペア（計画外2ペア含む）から155個の産卵があり、79個が有精卵、56羽（自然孵化：10羽、人工孵化：46羽）が孵化した。うち50羽が成育している。

なお、成育個体50羽の性別は、♂23羽、♀18羽、未判定9羽となっている。

死亡個体、発育中止および破卵した有精卵を含めると全79個体中、♂30羽、♀24羽、未判定25羽となる。

資料1-2

1. トキの血中チアミン(ビタミンB₁)濃度について

材料：ヘパリン加血液5羽分（平成23年9月29日採材）

方法：高速液体クロマトグラフ法

検査機関：動物衛生研究所

検査成績

検体 No.	個体 No.	ふ化日	採材場所	チアミン濃度 (ng/mL)	備考
1	163/B/08	08.4.22	トキ保護センター	382.3	チアミン含有飼料給与
2	164/Q/08	08.4.22	トキ保護センター	311.9	チアミン含有飼料給与
3	304/E/11	11.4.21	トキ保護センター	330.4	チアミン含有飼料給与
4	307/E/11	11.4.23	トキ保護センター	319.9	チアミン含有飼料給与
5	263/G/10	10.5.6	野生復帰ステーション 収容ゲージ	16.8	6.22-9.2 放鳥訓練実施 ケガにより訓練中止

※参考 ウシ全血正常値：20-50ng/mL、中央家保ニワトリ測定値：24.3±2.0ng/mL

考察

検体 No. 1 から 4 の個体については、給与飼料中にチアミンが含まれていたことから高値を示したと考えられた。検体 No. 5 の個体については、6月22日から9月2日迄の放鳥訓練中にドジョウ主体の採食を行っていたことから、他の個体と比較して低値を示したと考えられた。

2. ドジョウに含まれるチアミン(ビタミンB₁)濃度について

材料：ドジョウ

方法：高速液体クロマトグラフ法

検査機関：財団法人 日本食品分析センター

検査成績

納入日	産地	飼養形態	結果	定量下限
H23.4	中国	天然	検出せず	0.01mg/100g
H23.4	国内 A	養殖	検出せず	0.01mg/100g
H23.10.6	国内 B	養殖	検出せず	0.01mg/100g

<参考値>

成分	県内（養殖）	四訂日本食品標準成分表	ウナギ
チアミン	0.02mg/100g	0.13mg/100g *	0.37mg/100g

*可食部 100g あたり

*佐渡島内の野生ドジョウについても分析依頼中